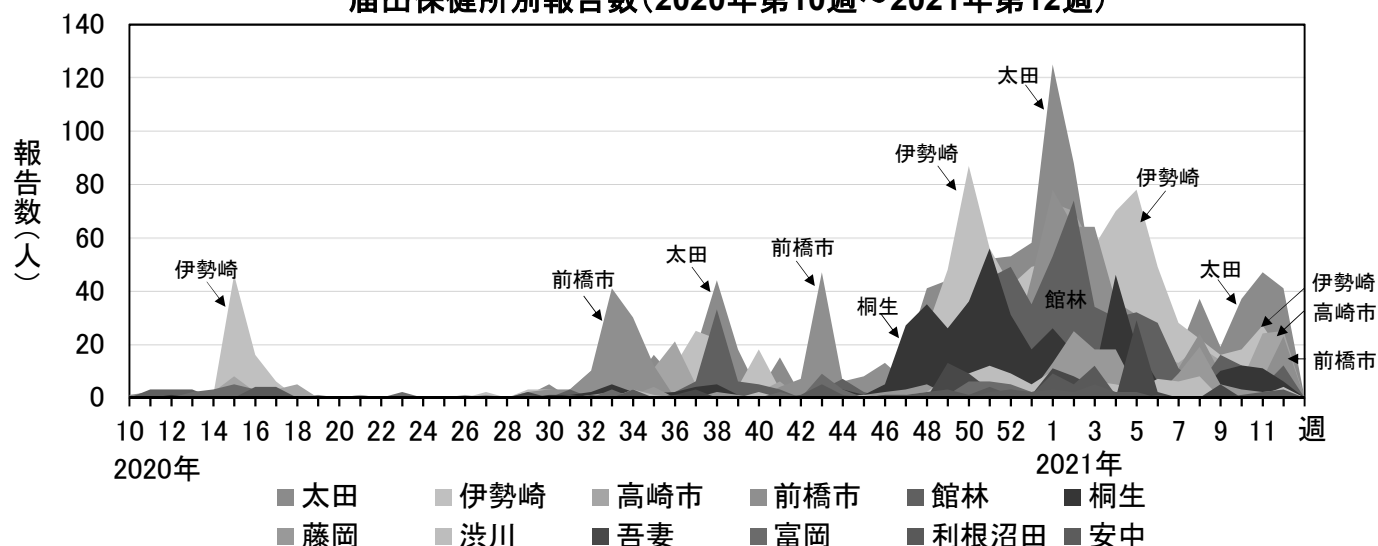


● 新型コロナウイルス感染症

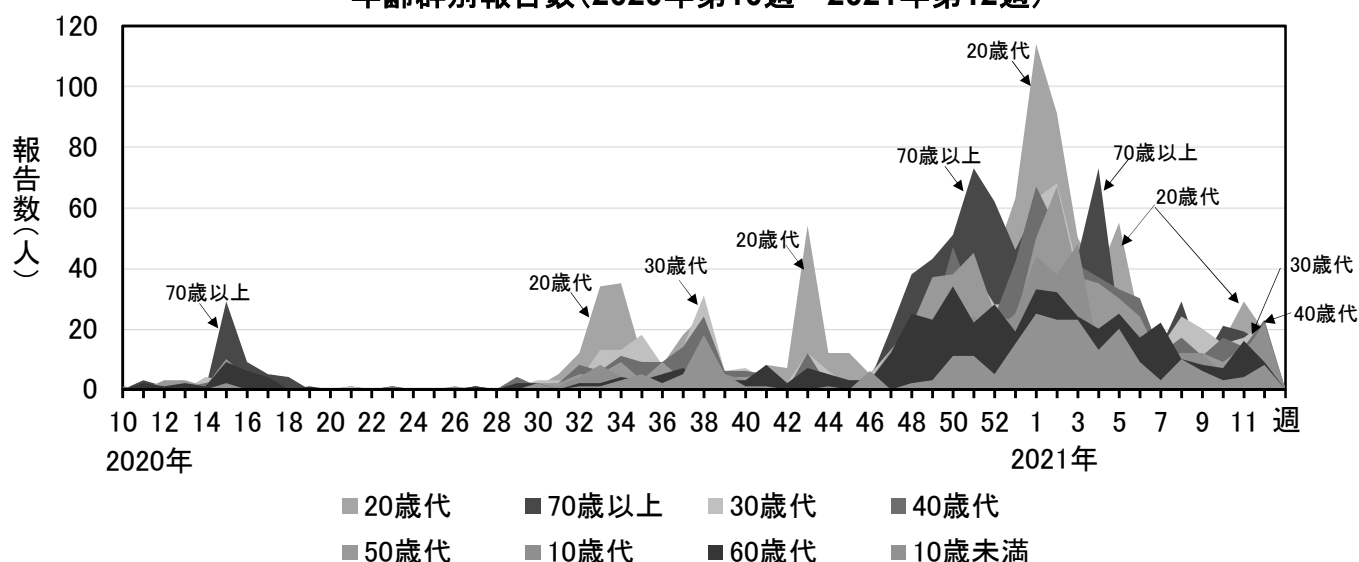
- ◆ 2021年第12週（～3月28日）までの県内で報告された新型コロナウイルス感染症患者は、男性2,704名、女性2,260名、計4,964名でした。
- ◆ 3月（～28日）の報告数は447名で、1月の報告数1551名をピークに、徐々に減少しています。届出保健所別では、太田が最も多く144名（32%）、次いで伊勢崎76名（17%）、高崎市69名（15%）でした。

届出保健所別報告数(2020年第10週～2021年第12週)



- ◆ 3月の年齢群別報告数は20歳代が80名（18%）と最も多く、次いで30歳代が74名（17%）、40歳代が65名（15%）でした。2月と同様、20～40歳代で報告数の約半数を占めていました。

年齢群別報告数(2020年第10週～2021年第12週)



【新型コロナウイルス感染症患者発生状況（3月31日 現在）】

県内患者発生数：5,031名 県内死亡者数：99名

国内患者発生数（感染者：厚労省発表）：472,112名

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム配列解析について

(2021年12週目(3月15日~21日)まで)

新型コロナウイルス感染症の N501Y 変異がある変異株のスクリーニング検査は、PCR検査により国、県、民間で実施されており、現在までに計 5 人(令和 3 年 4 月 4 日現在)が検出されている。更に、群馬県衛生環境研究所では、地域における感染状況の把握を目的として、国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センターの協力のもと新型コロナウイルス SARS-CoV-2 の全ゲノム配列の解析を行っている。検体採取週における系統*¹ の時系列チャートでは、2021 年 6 週目(2 月 8 日~14 日)までは、国内主流 2 系統*² といわれている B.1.1.284(94 検体)と B.1.1.214(45 検体)が多く検出されていた。しかし、5 週目(2 月 1 日~7 日)以降は、Spike タンパク質に E484K 変異を有する Pangolin 系統 R.1(以前は B.1.1.316 に分類されていた*³)の検出が目立つようになってきている。また、世界的にも感染が拡大し感染性や伝播性の増加等が懸念されるなど、WHO が「懸念される変異株」として警戒を強めている N501Y 変異株(いわゆる英国型, B.1.1.7)も 2 検体検出されている。

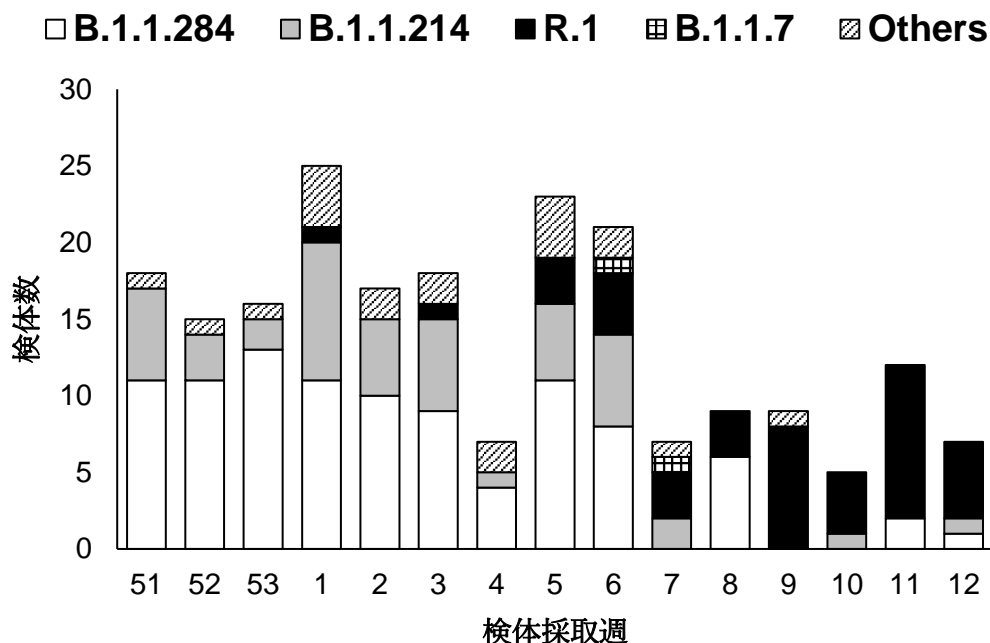


図 新型コロナウイルス分子系統の時系列

*¹ 新型コロナウイルス SARS-CoV-2 のゲノム情報を元にした分子系統解析 (<https://cov-lineages.org/lineages.html>)

*² 新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム情報による分子疫学調査(2021年1月14日現在), 病原微生物検出情報, (速報掲載日 2021/1/29)

*³ 新型コロナウイルス SARS-CoV-2 Spike タンパク質 E484K 変異を有する B.1.1.316 系統の国内流入(2021年2月2日現在) (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2488-idsc/iasr-news/10188-493p02.html>)